



青森山田

第1代表

光星

第2代表

弘前東

第3代表

高校野球秋季東北大会山形できょう開幕

第69回秋季東北地区高校野球大会は14日、山形県の荘内銀行・日新製菓スタジアムやまがた、天童市スポーツセンター野球場の2球場で開幕する。東北6県の代表18校が来春のセンバツ出場を目指し、し

のぎを削る。青森県代表は第1代表の青森山田が酒田南(山形第2)、第2代表の八学光星が不来方(岩手第2)、第3代表の弘前東が横手(秋田第1)と、大会第2日の15日に2回戦で対戦する。(林泰輔)

# センバツ懸け 18校熱戦

青森山田 VS 酒田南(山形)  
 光星 VS 不来方(岩手)  
 弘前東 VS 横手(秋田)

青森山田は2年連続のセンバツ出場を狙う。主戦の右腕対馬竜之介、左腕寺岡龍汰を中心に4試合で失策2と安定した守りを武器に勝ち上がった。打線は中軸の相坂大真や阿部健大、中澤樹希也に力がある。相坂主将は「好機で走者をかえし、持ち味の守り勝つ野球で勝ち進みたい」と意気込む。

光星は打率は3校中最も低いものの、リードオフマンの馬場文治や中軸の花房大晴、小池智也らが要所で長打を放ち得点を重ねた。投手陣は成田太一、國武大祐の両左腕に安定感がある。小池主将は「4年連続のセンバツを目指し、県大会での反省点を生かして一試合一試合を着実に戦いたい」と抱負を語る。

初出場の弘前東は主戦の左腕鳥谷部慎吾が投打の大黒柱だ。投げては最速140キロ超の直球と切れのある変化球を投げ込み、打っては中軸と

きょうの試合

青森山田	酒田南	光星	不来方	弘前東	横手
14:00	14:00	14:00	14:00	14:00	14:00

して勝負強さを発揮しチームを東北大会へ導いた。鳥谷部主将は「目標は日本一。気後れせずに戦ってセンバツをつかみ取りたい」と気合十分だ。

初日の14日は午前9時から荘内銀行・日新製菓スタジアムやまがたで開会式を行い、1、2回戦計4試合を実施する。決勝は19日午前10時から同会場。

県勢3校の県大会チーム成績

高校	試合数	打数	安打	打率	長打			得点	打点	四死球	犠打	盗塁	三振	失策	失点
					本	三	二								
青森山田	4	124	41	.331	1	3	6	26	24	29	13	6	9	2	7
八学光星	4	117	34	.291	2	2	7	20	18	22	10	6	19	3	14
弘前東	4	124	39	.315	2	1	8	27	20	10	10	4	15	2	12

青森県勢3校あす初戦